

新しい大阪へ11・22W選

# 橋下「維新」政治

大阪維新の会のホームページは、「過去に戻すか、前に進めるか」と訴えています。うまいことを言うものです。しかし、彼らが進もうとする「前」に明るい未来はありません。

改革プラン」は、敬老パスを有料化する、上下水道料金の福祉減免や学童保育への補助金、さらには文楽協会への補助金も廃止するというものでした。結局、府であれ市であれ、住民サービスはやらな

## 暮らして切り捨て

勢です。

「大阪都」構想を、根本から考えてみましょう。2008年7月、橋下徹知事(当時)は府議会で、府の役割は産業政策などに特化する。住民サービスは市町村にやっていただく」と答弁しました。

そして12年に、橋下さんは住民サービスを担当する大阪市長になりました。しかし、半年後に彼らが示した「市政



「都」構想は大阪市を解体し24の区を五つの特別区にする、そして市の税収の4分の3を大阪府のものにするものです。しかし、大阪府は住民

## 神戸女学院大学教授 石川 康宏さん

# “トンデモぶりの”正す時

サービスを担当しないとされず。では、住民はどうやって生きていけばいいのでしょうか。「口で生きていけ」というのが橋下「維新」政治の本音です。

これは日本経団連が長く主張してきた「道州制」を、大阪から先取りしようとするものです。財界は都道府県を廃止し、全国を10前後の道州に再編する、そして、それらの巨大自治体に地方予算を集中し、大企業優先の産業政策にあてるとしています。橋下「維新」の「都」構想は、これを強権、独裁の政治で達成しようとするものです。

これは日本経団連が長く主張してきた「道州制」を、大阪から先取りしようとするものです。財界は都道府県を廃止し、全国を10前後の道州に再編する、そして、それらの巨大自治体に地方予算を集中し、大企業優先の産業政策にあてるとしています。橋下「維新」の「都」構想は、これを強権、独裁の政治で達成しようとするものです。

## 土台取り戻そう

この場合はシールズ関西の主権ですから、平和の問題も付

同時期の記者会見で橋下さんはこう言いました。「自分の命に危険があれば他人は助けられないというのが9条の価値観だ」と。つまり、維新は9条「改正」のためにこの項目を立てたのでした。

ところが、橋下さん(大阪市長)、松井さん(府知事)が安倍さん(首相)や菅さん(官房長官)の政権と蜜月関係を築く最大の理由となっていました。

大阪以外の人からすれば、今回の選挙の構図は異常に見えるかもしれません。しかし

(4日、大阪市内でのシールズ関西の街頭宣伝で)